

令和4年度 健康おかざき 21 計画推進協議会 会議録

日時:令和5年2月15日(水) 午後1時30分から3時00分まで

場所:岡崎歯科総合センター 2階 会議室

出席委員:安藤委員(議長) 浅田委員 阿部委員 市川(博)委員 市川(文)委員 小出委員
清水委員 鈴木(明)委員 鈴木(ゆ)委員 田中委員 守谷委員 山田委員

欠席委員:藤本委員 福山委員

傍聴者:なし

事務局:保健部長 神尾 保健所長 片岡

保健企画課長 太田 健康増進課長 青山 健康増進課副課長 小早川

健康増進課食育栄養係長 鈴木(久) 健康増進課健康増進係長 鈴木(理)

健康増進課こころの健康推進係長 西 他健康増進課職員5名

内容:開会

部長挨拶

議題

1 令和4年度の取組状況と令和5年度事業計画(案)について

2 健康おかざき21計画(第2次)最終評価について

保健所長挨拶

閉会

議題1 令和4年度の取組状況と令和5年度事業計画(案)について

事務局	資料「令和4年度 健康おかざき 21 計画推進協議会」の議題1「令和4年度の取組状況と令和5年度事業計画(案)について」に基づき説明。(分野1～分野3)
議長	事務局の説明について、御意見、御質問はあるか。
委員	私自身が野菜たっぷりメニューを、外食に行った時に食べている。協力店が25店舗あるとのことだが、これはだんだん増えてきているのか。それとも減ってきているのか。
事務局	一時期はもう少し多くて58店舗あったが、コロナ禍ということで飲食店にお願いするのが難しく、今年度も積極的な啓発をしていない。また、「家康めし」のところで説明した「三河武士ごはん」というのが「野菜たっぷりメニュー」と同じ扱いになってくる。来年度に向けては、もう少し積極的に啓発していけると思うので、店舗数の増加を目指していく。
委員	せっかくなので、協力していただける店舗も皆さんが導入しやすいものにしていただきたい。「野菜たっぷりメニュー」、「家康めし」、「三河武士ごはん」などいろいろなものがあると逆に混乱する気がする。どれかに統一して野菜をたくさん入れてもらうのはどうか。
事務局	「家康めし」は、固定のものになってしまうが、「三河武士ごはん」と、「野菜たっぷりメニュー」は重複する部分が多いので、この1年については、大河ドラマの効果を期待し、「三河武士ごはん」という名前で啓発を考えている。
議長	本格的な取組は令和5年度からになっていくと思うが、今後の展開等について何か御意見等はあるか。

委員	「家康めし」について、コロナ禍で飲食店に周知ができない状況がある。今までは1つのメニューに120グラム相当の野菜を入れる「野菜たっぷりメニュー」の周知を一生懸命やってきた。食品衛生協会の指導員会場で具体的に説明し周知している。「家康めし」の場合は、永山先生監修の定義があるため、和食屋を中心にお願いして作っていただいている。 「三河武士ごはん」はどんな形態の飲食店でも良いため、今広く募集をかけている段階。各店舗が作りやすいものがよい。定義に沿うが、変更等は可能とのことなので、各飲食店でもアレンジをするなどして、観光客が多く来る今の時期に、お店にも来てもらえるよう協力していただけるとよい。元々は「野菜たっぷりメニュー」が主なので、先ほどの定義の中でアレンジして入れるという形で、麺類、和食、洋食など、どんな店でも参加できる体制で説明している。
議長	岡崎市内の飲食店を中心に野菜のメニューを提供するという呼びかけや、働きかけをされているということで、よろしくお願いします。
委員	基本的な質問だが、「家康めし」や「三河武士ごはん」を店舗と協力して出されるということだが、美味しいのか。
事務局	美味しいかどうかの感じ方は人それぞれだが、飲食店には、通常提供しているものに野菜をプラスしてもらう程度でお願いしている。通常提供しているものが基準を満たしている店舗も多いため、そのようなメニューに「家康めし」、「三河武士ごはん」の冠をつけて出させていただく。味のイメージとして病院食のようなものではないと捉えていただいてよいかなと思う。
委員	なんとなく病院食のようなイメージがすごく強くあったのと、歴史的なことから「家康めし」「三河武士めし」が考えられていると思うと、美味しくない感じがした。 食塩摂取量についての報告があったが、「健康」イコール「減塩」と結びつけられている風潮があるが、必要な塩分摂取量には個人差があり、炎天下で働く人とオフィスワークをする人では全然違う。来年度の事業予定で説明があったが、食塩摂取量の現状把握を徹底的に行って勘違いのないように周知していただきたい。
事務局	食塩摂取量の現状としては、医師会に協力していただき、尿中の塩分濃度を健診の中で計っており、大学の協力を得て分析をしている。それを踏まえた啓発、健康づくりを考えている。
事務局	資料「令和4年度 健康おかざき21計画推進協議会」の議題1「令和4年度 of 取組状況と令和5年度事業計画（案）について」に基づき説明。（分野4～分野6）
議長	事務局の説明について、御意見、御質問はあるか。
委員	休養・こころの健康分野では、自殺を念頭に置いた対策が大きいと思うが、未成年に関しては学校等での対策を教育委員会でされているのか。
事務局	学校でも実施している。ゲートキーパーの出前講座の依頼を受けて実際に担当職員が出向いている学校もある。
委員	職域との連携については、いろいろな事業所を念頭に置いていると思うが、例えば個人事業主にはなかなか入り込めない所も多いと思うが、その辺りの対策はあるのか。
事務局	少し細かい話になるが、自殺の対策会議ではいくつかの作業部会を持っており、労働者向けのことは労働基準監督署等が入る部会で検討させていただけると思う。 詳しい内容については、来年度の策定にはなるが「第2次いのち支える岡崎市自殺対策計画」の中でお示ししていきたい。
委員	たばこの分野に関して、コロナ禍で出前講座を行いにくいとは思いますが、中学生2年生162

	名というのは少し寂しい。コロナが５類に移行したら積極的にアプローチしていただけるとよい。
事務局	また、校長会等で宣伝させていただきたい。
委員	たばこについて現状を伺いたい。学校は敷地内禁煙になっていると思うが、以前の値で喫煙している未成年の割合が中学生 0.2 パーセント、高校生 0.9 パーセントとある。直近値は出ていないが、今、小中学校は敷地内禁煙、全員禁煙が基本だと思うがどうか。
事務局	学校については、法律の中で決められているので、敷地内禁煙を実施している。
議長	アルコールについては、国の健康日本 21 の最終評価では、適正飲酒量を上回る人の割合が増加して指標が悪化したという説明があった。適正飲酒量の効果的な啓発場所とか方法について何か御意見があったらお願いしたい。
委員	効果的な啓発については今浮かばないが、先日、人間ドックを受診した際、設問にアルコールの量などの項目があった。そういったものを少し活用して実態を把握するのはどうか。
議長	飲酒する人は、適正量をあまり意識されていないことが多いと思う。
委員	自分の体に何か影響があれば摂取量に関して考えると思うが、実際に健康で飲酒している状態であれば、その人にとっての適正量はなかなか決めがたいことがあるのかもしれない。
議長	適正量については、飲むと気分も良くなることもあり、なかなか効果的な啓発活動が難しいかと思う。適正飲酒量の啓発は今後の課題になるかと思う。
事務局	資料「令和４年度 健康おかざき 21 計画推進協議会」の議題１「令和４年度 of 取組状況と令和５年度事業計画（案）について」に基づき説明。（分野 7 ～健康づくりを支える社会の構築）
議長	事務局の説明について、御意見、御質問はあるか。
委員	妊婦教室は、産院や病院で毎月開催するのは聞くが、行政の妊婦教室、離乳食教室の出席率はどのくらいか。
事務局	コロナ禍で、かなり定員を絞っているが、毎回定員を超える応募があり、抽選に漏れた方については資料提供で対応している。離乳食教室は前期、後期に分けて開催しているが要望は多い。離乳食教室についてはかなり興味を持っていると思う。
委員	私の個人的な考えだが、健康であるための 1 番の基本は食と思っている。農業を営んでいるが、食材には多くの農薬が使われている。関連があるか分からないが、最近よく耳にするのは子どもの発達障害。農薬には染色体や脳への影響を与えているともいわれており、生産者としてそのような影響を懸念している。 また、遺伝子組み換えの食材についても、人体にどのような影響があるのか、そのような食の安全についてこの会議で話し合うことは可能かどうか伺いたい。
事務局	この会議での議論は難しいかと思うが、保健所の他の部署で岡崎市食の安全・安心推進協議会という会議体を設けており、そちらでの議論になってくるかと思う。
議長	大きなテーマになると思う。よろしくをお願いしたい。 それでは、新しい取組ということで、プレコンセプションケアというワードが出てきた。今後、若い世代の啓発として、効果的な啓発場所や提案方法について、御意見を伺いたい。
委員	啓発方法がメール配信とチラシの配布となっている。私は市内の大学に通っているが、プレコンセプションケアという言葉を知った。普及があまりされていない印象がある。メールやチラシは、自発的にチラシを「開く」、「見る」という工程を踏まなければいけない。そのような方法ではなく、例えばエレベーターの中等、確実に目に止まるところにポスターを貼ると、自然に目に入るようになり、普及に繋がると思う。あと、プレコンセプ

	ションケアの中の1つに、「適正体重をキープしよう」というのがあるが、女性の体のイメージ、自分がこういう体型になりたいというのは結構早い段階で決まってくると思っている。今だと韓国アイドル等を見て自分もこういう体型になりたいって思うのが、中高生が多いと思うので、中高生に向けても適正体重について教育をした方がいいと思う。
委員	健幸アンバサダーについては、私も数年前に養成講座に参加し講話を聴いた。今年度久しぶりに養成があったが、アンバサダーの養成をし、人数も増えてきているとは思いますが、活用等についてどうお考えか。アンバサダーの登録をし、LINE登録をすると定期的に健康に関する情報が入ってくる。身近な方や教室の参加者に伝えるのが役目だとは思いますが、他にまだ何もしておらずどうしたらいいかと思っているので教えて欲しい。
事務局	健幸アンバサダー養成講座は、現状健康づくりリーダーなどそれぞれ所属がある方に受講していただいている。それぞれの所属内や実施している教室の参加者等に周知し活用していただければと思っている。新たに健幸アンバサダーとしてやっていただくことは特にはない。あくまでも、身近な立場でお伝えいただくのが健幸アンバサダーの位置付けだと思っている。
委員	企業では優秀な人材の確保と職場定着、働きがいのある職場を作るためにそれぞれ健康経営を進めている。2022年は商工会議所会員のうち、79社が健康経営優良法人に認定された。さらにまた健康経営を進めていくために商工会議所としてもサポートしていく。各企業が健康経営に対する価値を高められるように、岡崎市では入札時に加点する制度はあるのか。
事務局	現在はないが、今後関係部局と検討していきたいと考えている。

議題2 「健康おかざき21計画(第2次)最終評価について」

事務局	資料「令和4年度 健康おかざき 21 計画推進協議会」の議題2「健康おかざき 21 計画(第2次)最終評価について」に基づき説明。
議長	事務局の説明について、御意見、御質問があればお願いしたい。
委員	市民健康意識アンケートの問 13「外食をしますか」について、2次質問として「どのようなものを食べるか」についても聞けるとよい。麺類なのか、和食なのか、洋食なのか、あとはファーストフードなのか。なぜ必要かという、問 22 に体重のことを尋ねる設問がある。食べ物と体重との関係がある程度出てくるのかと思う。もう1つは、問 16。これとは関係ないかもしれないが、食材を買う時の基準を付け加えてもよいと思う。例えば価格なのか、自分が作りたい料理に応じて買うのか。その辺りもある程度把握していくと、色々考えさせられる結果が出てくるのではないかな。もし可能ならば御検討いただけるとありがたい。
事務局	アンケートの内容については、かなり多岐に渡っているのですが、ボリュームも含めて検討させていただきたい。2点目におっしゃっていた食材を選ぶ時のポイントについては、今年度実施している食育アンケートの中で調査している。
議長	多くの健康増進に関わる取組を事務局で考えていただいて、私どもの健康維持に支援をいただいていることがよく聞ききとれた報告であった。私たちもそれに向かって協力をしていかなければいけないことを理解でき、来年の取組も全員で協力して行いたいと思う。これで議題を終了する。